

講義名	金融論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	小塚 匡文		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	44115

主題と概要

現在、我々が暮らしている社会においては「おカネ」の流れが重要な役割を持っています。そして、資金の貸し借りに伴う「おカネ」の取引のことを、「金融」とよびます。これらは昨今の経済状況やそれに対する諸政策にも大きく関係しています。これらの問題について考察するためには、経済理論だけでなく、実際の金融のしくみも学ぶ必要があります。この講義では、これらの基本的な知識を広く修得することを目的としています。

到達目標

この講義では、「おカネ」の役割やその流れ、そして経済活動との関連について基本的な知識を得ることを目標としております。また現実の経済や金融の動きに対して、この講義で得た知識をもとに、(粗削りでもよいので)自身の意見を持つことができるようになれば、なお良いと考えます。
決してお金儲けの方法を学ぶものではありません。

提出課題

重要なポイントと思われるトピックについて練習問題を数回出題します(講義中に出現しますが、毎回ではありません)。練習問題の得点は成績評価の対象となります。

評価の基準

期末試験(80%)、講義中の練習問題(20%)で評価します。

履修にあたっての注意・助言他

- (1)「経済学入門」「基礎経済学」の内容を習得済みであることを前提とします。
- (2)効率的な学習のため、教科書は必ず購入してください。
- (3)講義は座席指定で実施します。
- (4)この講義では、毎回最初の20分前後を使って、前回の復習をします。
- (5)特に指示のない限り、講義中にスマートフォンやタブレット端末などを操作・使用することを禁止します。常識の範囲内ですが、講義中にイヤホンで音楽などを聴く、騒ぐ、といった行為も禁止します
- (6)受講態度が著しく悪い、注意しても改善しない学生には、退学を命じることがあります。

教科書

.ベーシックプラス 金融論 第2版.	家森信善	中央経済社	2376	978-4-502-

プリント資料及び参考文献

森澤龍也 著『レクチャー&エクササイズ 金融論』新世社 ライブラリ経済学
その他の資料は、必要に応じて配布・紹介する。

授業計画

1. 金融論で何を学ぶか
2. 貨幣の役割
3. 金利とは何か
4. マクロ経済と金融政策
5. 日本銀行(中央銀行)の役割
6. 金融政策の手段
7. 金融システムと金融仲介機関の役割
8. 銀行以外の金融機関
9. 金融システム安定化のための政策
10. 金融機関の破たんへの対応策
11. 金融市場に関する諸規制
12. 間接金融型の金融商品
13. 直接金融型の金融商品
14. ファイナンスの基礎
15. まとめ

予習・復習

<予習>
講義の最後に、次回講義の内容に関連したキーワードを提示するので、その意味を調べておく。また、次回の講義内容に即した簡単な課題を出題するので、それに取り組む(貨幣がないとどのような問題が起こるか、など)。(60分)

<復習>

備考